

京浜歴科研年報

京浜歴史科学研究会

目 次

年報第二号を発行するに際して	(1)
<公開討論会> 神奈川地域史研究の現状と課題	(2)
一、自治体史編纂・文書館の状況	
二、市民・歴史学習の今日的課題	
三、文化財・遺跡保存運動の状況	
四、婦人の学習会・女性史研究 討論会の記録	
私擬憲法にみる民権思想	伊東 富昭 … (11)
自由民権運動の経済史的研究をめぐって	奥田 晴樹 … (17)
明治地方「自治」制成立過程に関する大島美津子氏の所説について	内田 修道 … (19)
<連続講座> 歴史に学ぶ	(24)
服部之総との出会い	新井 一弘
戦後歴史学とは何か	内田 修道
百姓一揆研究の伝統	伊東 富昭
マイネッケを読む	青山 永久
歴史認識の方法と世界史像	奥田 晴樹
日本近代国家論について	大湖 賢一
『フェミニズムと戦争』を読む	奥田 和美
<公開講座> 神奈川の歴史を学ぶ	(33)
原始神奈川を掘る	岡本 勇
富士山噴火	川島 敏郎
武士の世	池永 二郎
43万発の焼夷弾	石井 喬
東国唯一の貿易港	後藤 正吉
自由民権期の神奈川	内田 修道
地方史論議の今日的意味	奥田 晴樹 … (41)
京浜歴史科学研究会会則	(47)
編集後記	(49)